

証券コード:5943

新しい幸せを、わかすこと。



2015年(平成27年)12月期 決算説明資料

2016.02.10

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

通期決算概要

■ 下期回復も上期低迷し、営業利益ベースで減収減益

- ・ 国内事業: 消費増税後の低迷が想定以上に長期化し減収減益
- ・ 海外事業: 増収も櫻花中国の不振で減益

■ 特別損失を計上し、純利益は39億円の赤字

- ・ 厨房、住設システム分野の業績見通し悪化により減損損失を計上
- ・ 櫻花中国、買収当時の計画未達により、のれんを一括償却
- ・ 製品の一部部品の保証期間延長による製品保証引当金を計上

次期見通し

■ 中期経営計画最終年度

売上高2,200億円、営業利益70億円を目指す

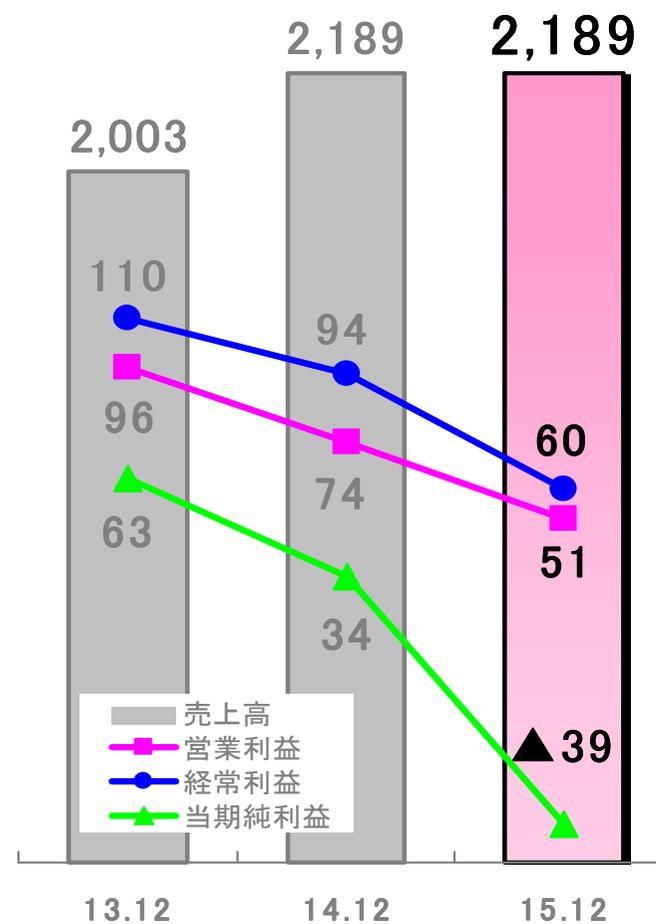


2015年(平成27年)12月期
財務・業績概要

国内市況低迷、櫻花中国不振により減収減益

【単位：億円】

■ 売上高	: 2,189億円	(0.0%減)
■ 営業利益	: 51億円	(30.8%減)
■ 経常利益	: 60億円	(36.3%減)
■ 当期純利益	: ▲39億円	(-)
■ ROE	: ▲ 3.6 %	
■ ROA	: ▲ 2.0 %	

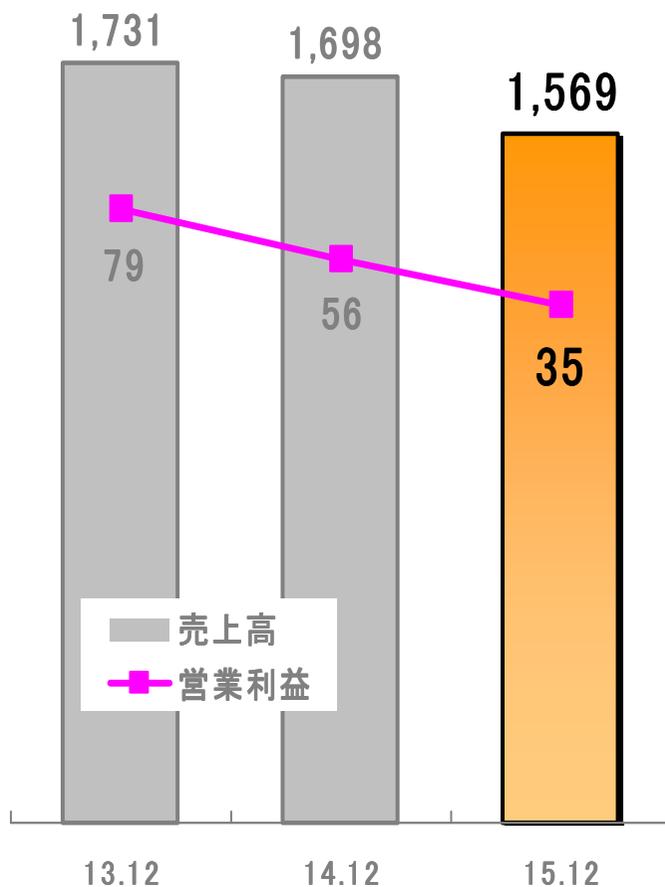


※平均為替レート 1ドル:121.0円/1元:19.2円/1ASドル:90.4円

国内事業は減収減益、海外事業は増収減益

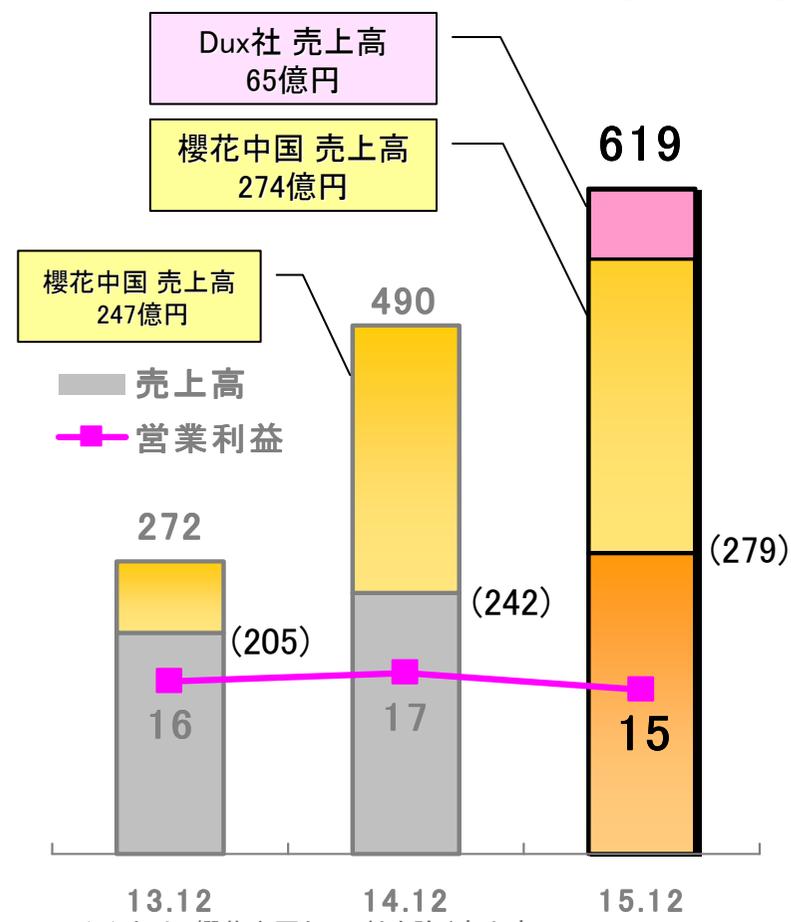
国内事業

【単位:億円】



海外事業

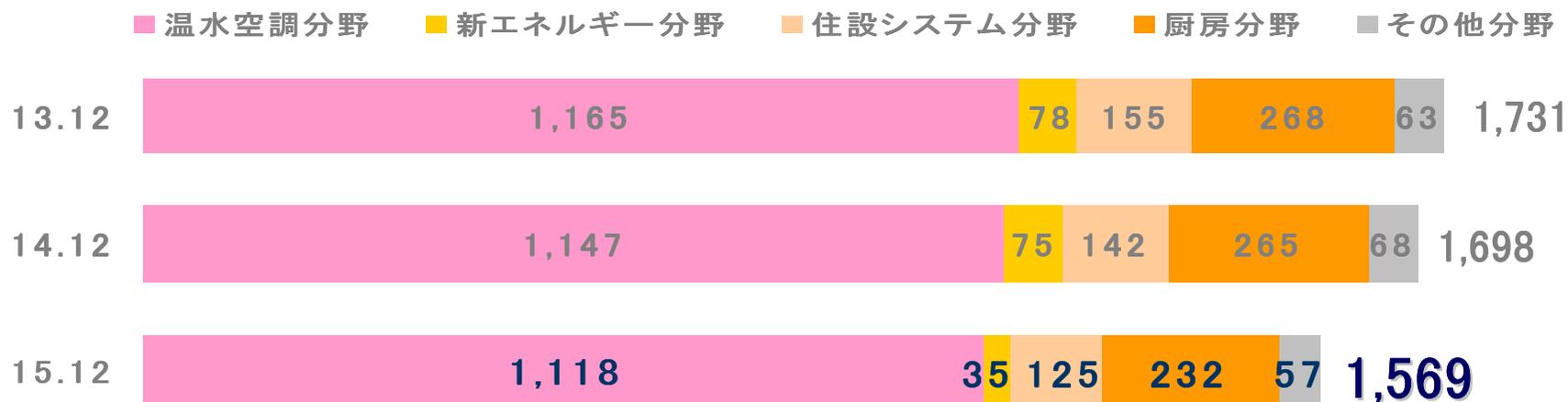
【単位:億円】



2015年(平成27年)12月期 経営計画 セグメント

■ 国内事業 分野別 売上高

【単位:億円】



■ 海外事業 エリア別 売上高

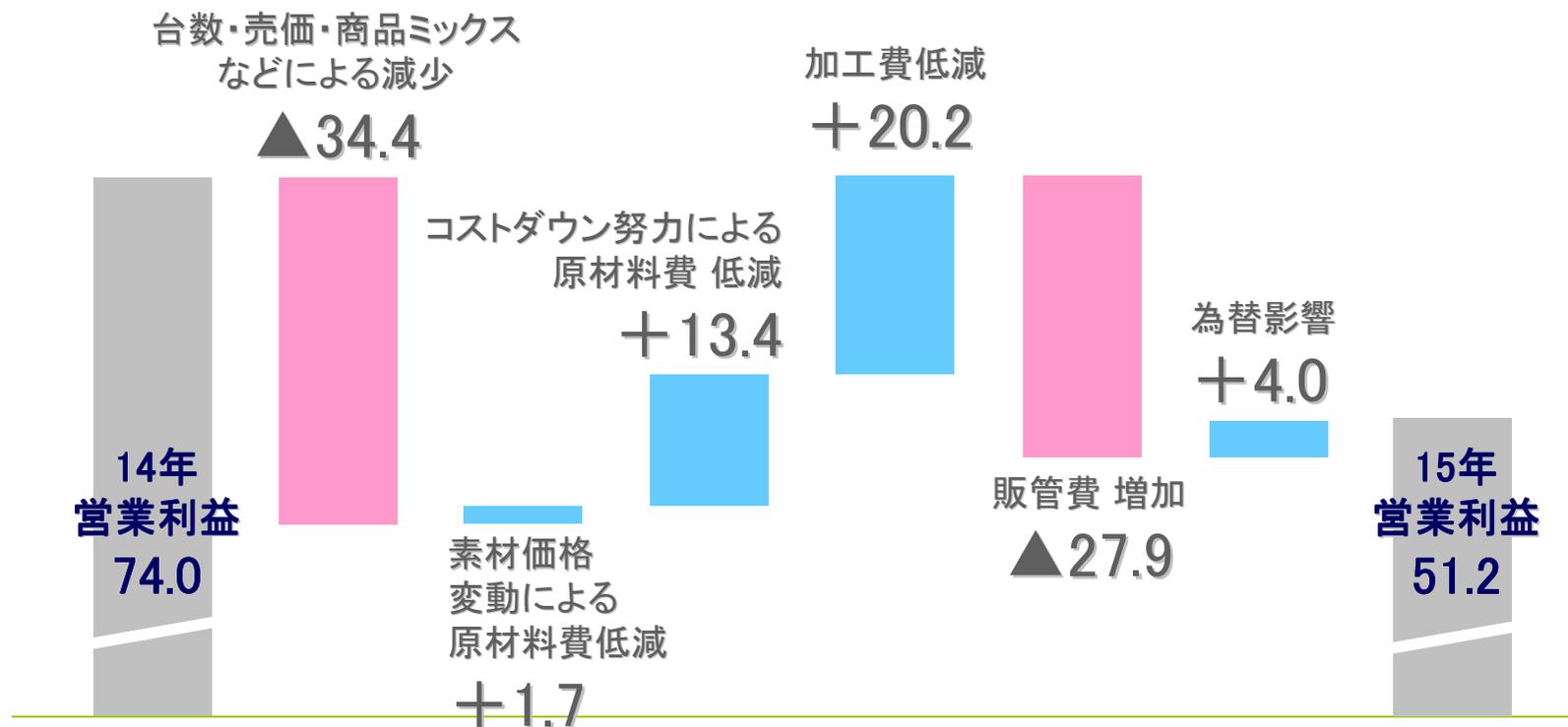
【単位:億円】



※15.12: 櫻花中国の売上高274億円、Dux社の売上高65億円

2015年(平成27年)12月期 営業利益 減益要因

【単位:億円】



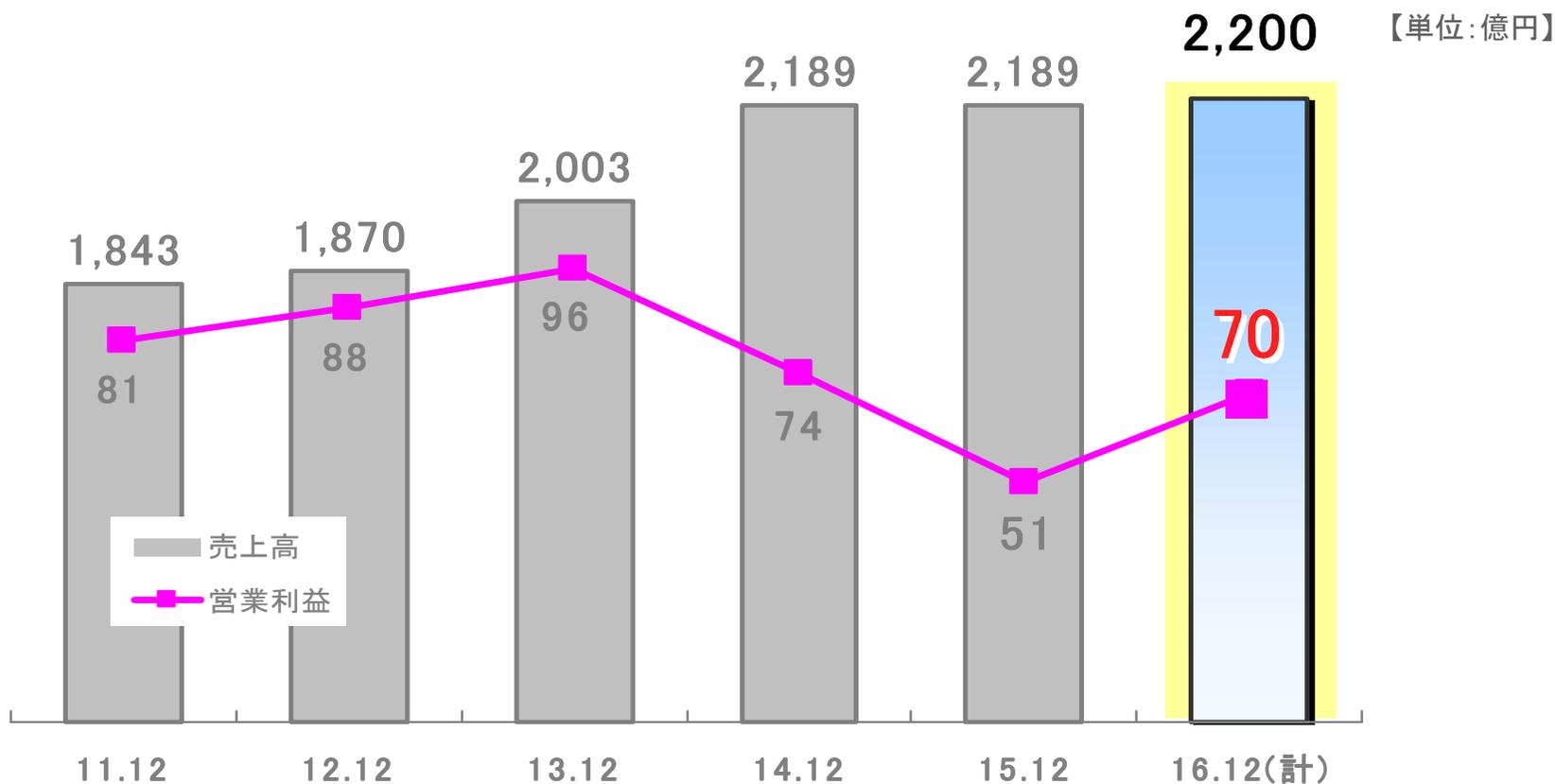
※海外事業の費用増:加工費10億円、販売管理費34億円



2016年(平成28年)12月期
経営計画

収益改善策を実行し、営業利益の回復を図る

● 売上高: 2,200億円 ● 営業利益: 70億円 ● 経常利益: 77億円 ● 当期純利益: 46億円
● ROE: 4.1% ● ROA: 2.3%



※平均為替レート 1ドル: 120.0円/1元: 19.0円/1Aドル: 87.0円

2016年(平成28年)12月期 経営計画 修正内容

【単位:億円】

	16.12(当初)	16.12(修正)	当初比
売上高	2,500	2,200	▲300
国内事業	1,700	1,560	▲140
海外事業	800	640	▲160
営業利益	100	70	▲30
国内事業	55	45	▲10
海外事業	45	25	▲20
経常利益	110	77	▲33
当期純利益	68	46	▲22

修正理由

国内事業

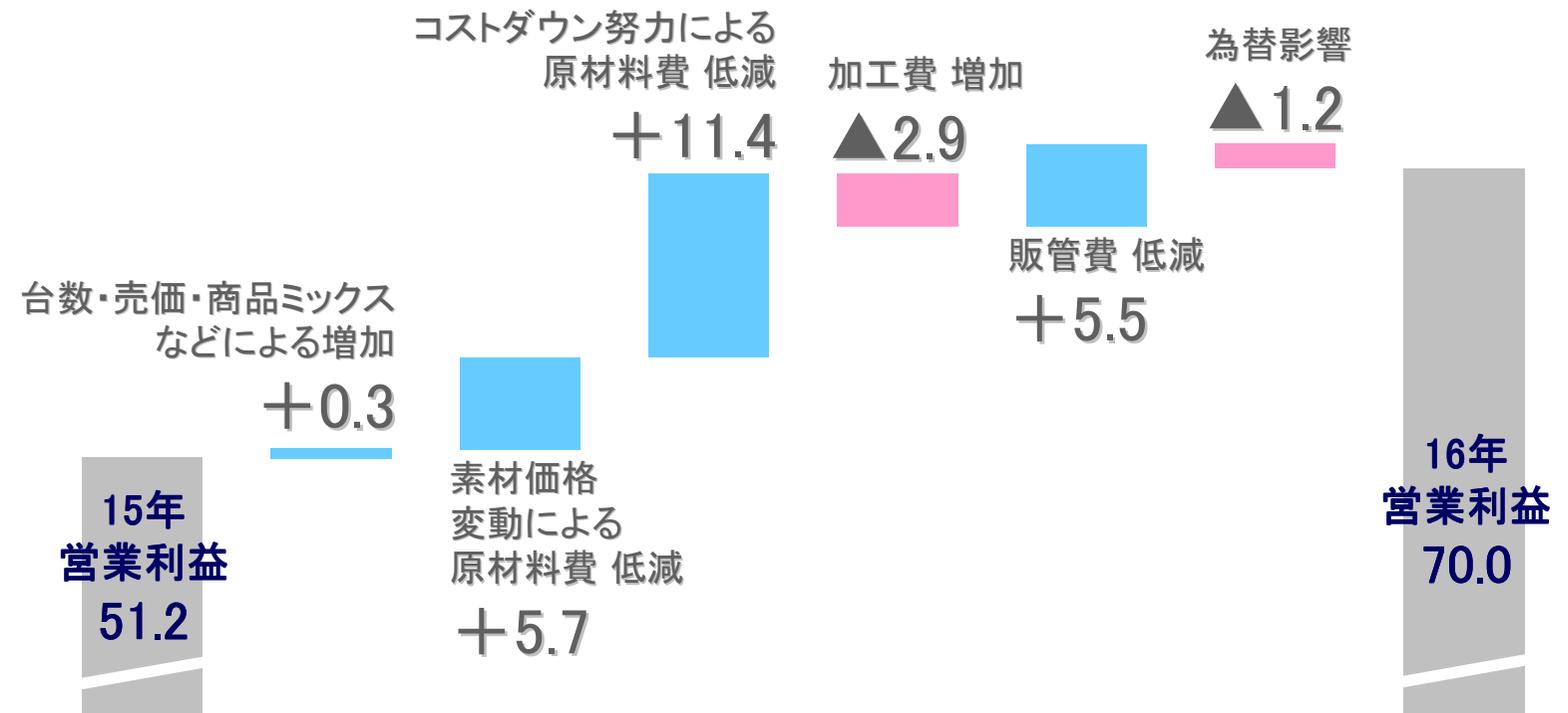
- ① ビルトインコンロの成長鈍化 (15年実績 前年▲4%)
- ② 住設システム商材の販売戦略の転換(量から質へ)

海外事業

- ① 櫻花中国の不振

2016年(平成28年)12月期 営業利益 増減予想

【単位:億円】



※海外事業 加工費2億円増、販売管理費4億円減



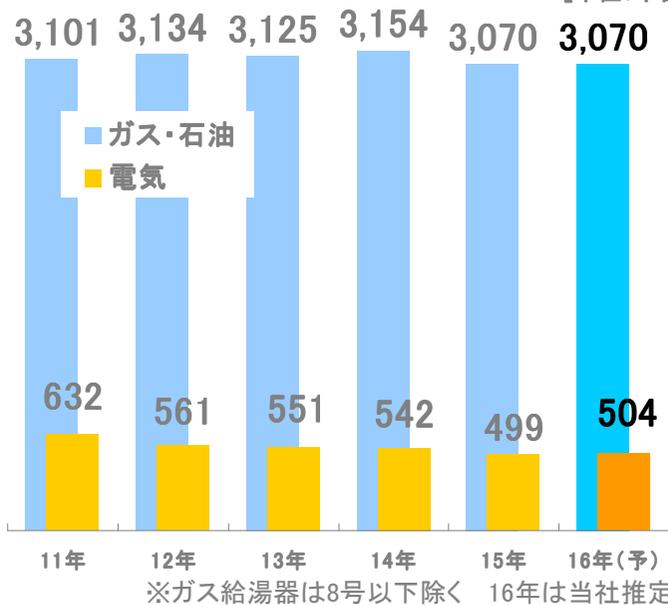
2016年(平成28年)12月期
国内事業

国内需要は横ばい。付加価値商材の普及に弾み

温水機器需要予想

ガス・石油機器の需要は前年横ばいで想定

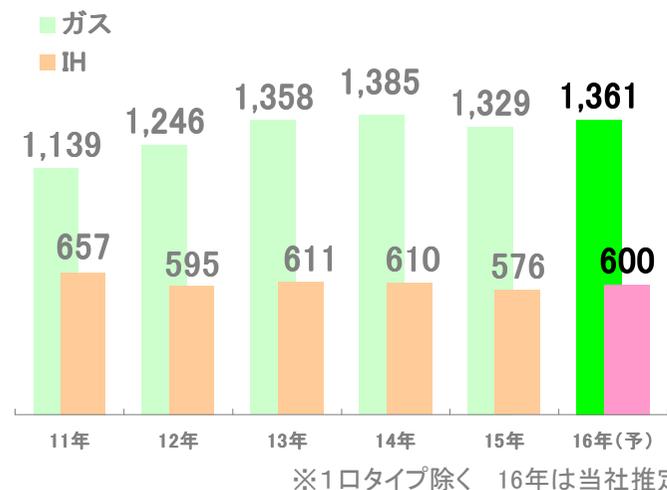
【単位:千台】



ビルトインコンロ需要予想

ビルトインコンロの需要は前年2.4%増を想定

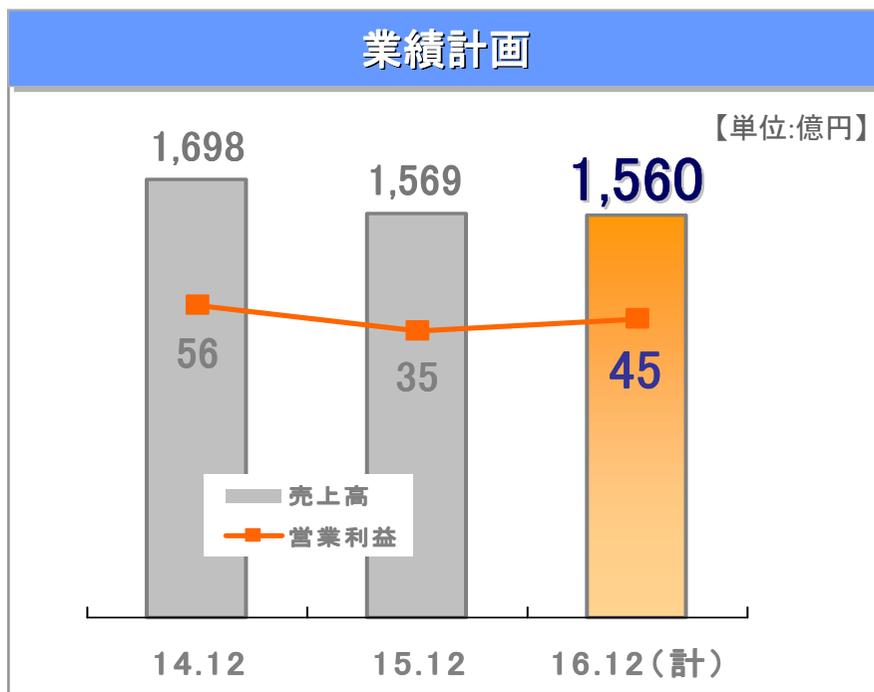
【単位:千台】



4月：電力小売完全自由化
4月：建築物省エネ法施行

4月：エネファーム導入支援補助金
17年4月：消費税再増税

2016年(平成28年)12月期 国内事業 経営計画



- **商品ミックスの改善**
 - ・ エコジョーズ比率43.0%(前年+2.8pt)
 - ・ 中高級コンロの拡販
- **新商材拡販45億円(前年+4億円)**
- **収益改善策の断行**



約15億円の収益改善策を断行

主な取り組み		収益改善額
■ 価格改訂	温水機器の希望小売価格の値上げ (15年9月実施済み)	約5億円
■ 新商品効果	システムキッチン発売 (15年4月発売) システムバス発売 (15年7月発売)	約4億円
■ 分野ミックス改善	温水空調分野へのシフト	約2億円
■ 人件費削減	就業規則の改定 定年退職者不補充など	約2億円
■ 販売管理費削減	広告宣伝費削減	約2億円

※IT投資等に伴う減価償却費約4億円増加



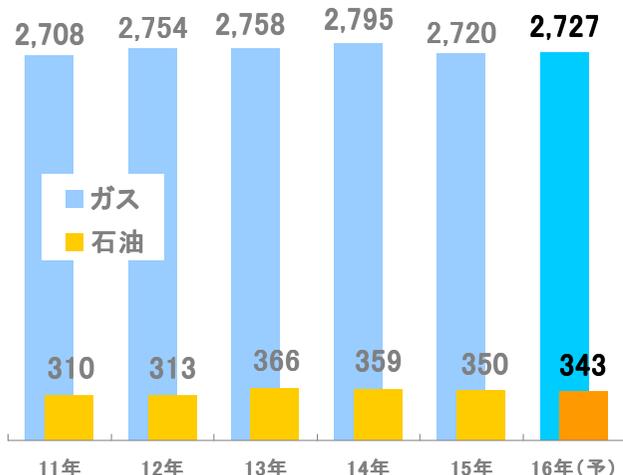
(株)長府製作所との 資本・業務提携について

(株)長府製作所との資本・業務提携

経緯

■ 2015年12月、長府製作所との資本・業務提携を公表
 ⇒縮小する国内事業での成長に向け、本提携が最良のプランと判断

【単位:千台】



- ガス・石油給湯器の国内需要は横ばい
- 高効率タイプの普及が加速
 - ・エコジョーズ比率:15年 34.4%(11年比+9%)
 - ・エコフィール比率:15年 16.3%(11年比+8%)

業務提携

- 製品及び部品の相互供給
- 製品の共同開発
- アフターサービス機能の相互補完

資本提携

- 当社が長府製作所の株式を約1,079千株取得
- 長府製作所が当社株式を約1,524千株取得

※ 2015年12月11日より1年間で段階的に取得
 ※ いずれも発行済み株式数の3%相当

(株)長府製作所との業務提携 骨子

		ノーリツ	長府製作所	開始時期	狙い
両社保有商材	石油給湯機	<ul style="list-style-type: none"> ●国内シェア高 ●直圧式に強み ●高効率タイプ バリエーション少 	<ul style="list-style-type: none"> ●国内シェア高 ●セミ貯湯式に強み ●高効率タイプ バリエーション多 	製品・部品 相互供給 16年7月より 順次開始	コストダウン 及び 付加価値 拡大
	ガス給湯器	<ul style="list-style-type: none"> ●国内シェア高 ●業務用など バリエーション多 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭用のみ 		
貯湯タンクユニット/ソーラーシステム				—	コストダウン 及び 付加価値 拡大
住設システム商品				—	
一方が保有の商材	ハイブリッド給湯器	エコキュート		製品 相互供給	コストダウン 及び 付加価値 拡大
	ガスコンロ	HP冷温水熱源器			
アフターサービス機能の相互補完				具体的なエリアを検討中	

2017年に年間約5億円の利益貢献を目指す

新しい幸せを、わかすこと。



×

快適をもっとたっぷり



アフターサービス機能の相互補完

製品の相互供給

2016年～

製品の共同開発

部品の相互供給



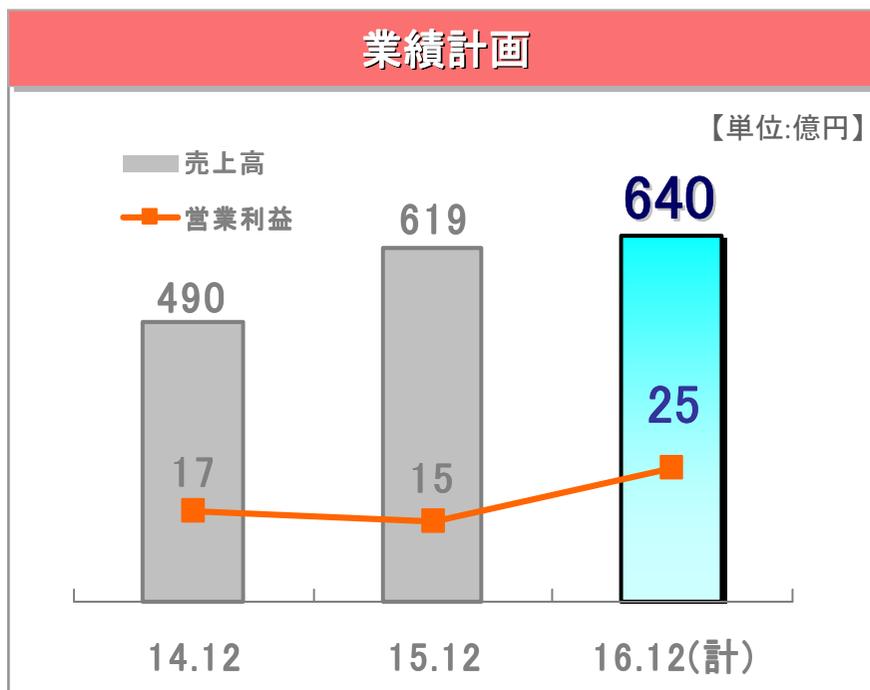
2016年12月期(平成28年)
海外事業

経済成長の下振れリスクを内包するも 環境・省エネニーズを背景にタンクレス市場は成長



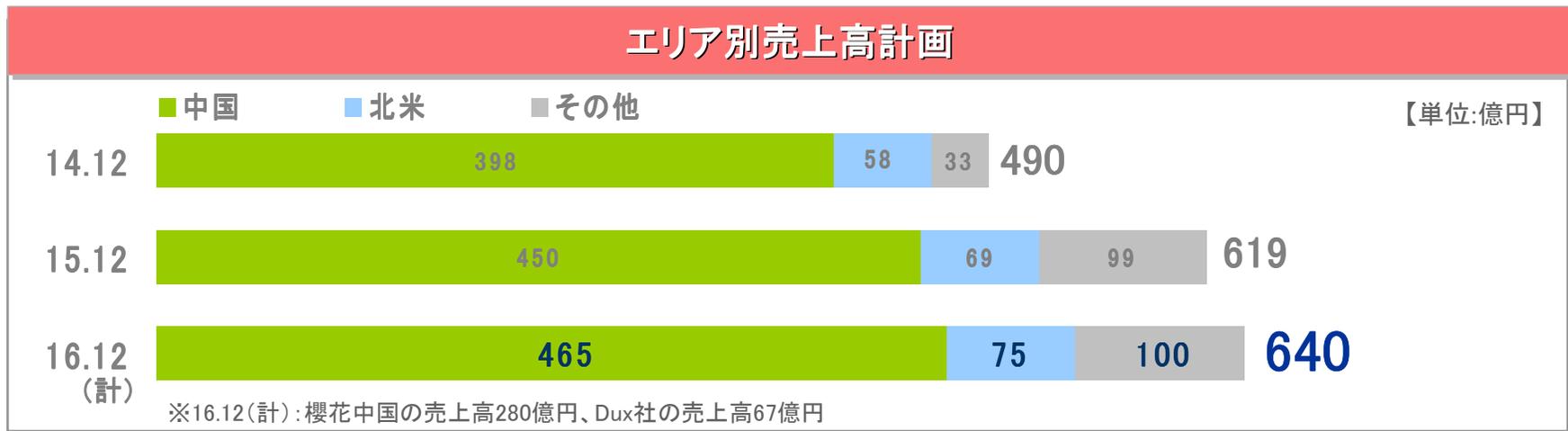
2016年(平成28年)12月期 海外事業 経営計画

業績計画



- 櫻花中国の再建
- Dux社のタンクレス給湯器拡販

エリア別売上高計画





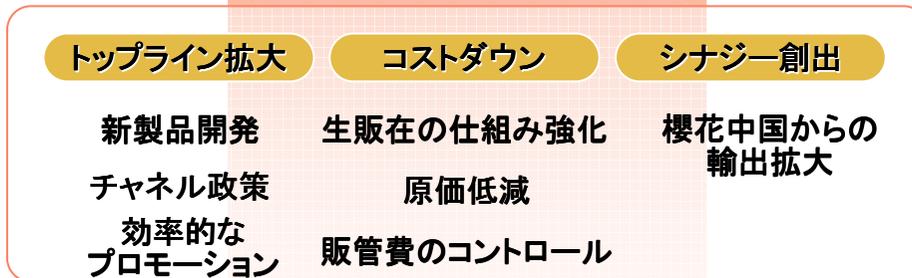
櫻花中国、豪州Dux社について

櫻花中国、今後の方針と2016年の主な取り組み

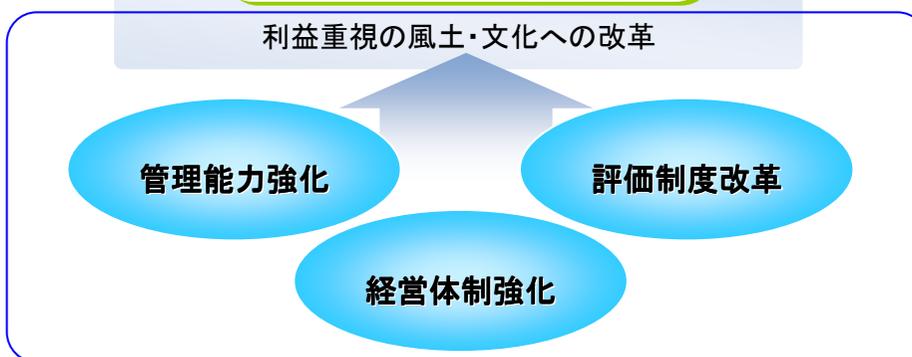
《今後の方針》



櫻花中国の再建



経営体質の变革



《16年の主な取り組み》

- 売上高: 280億円(前年比+2%)
- 営業利益: 黒字化

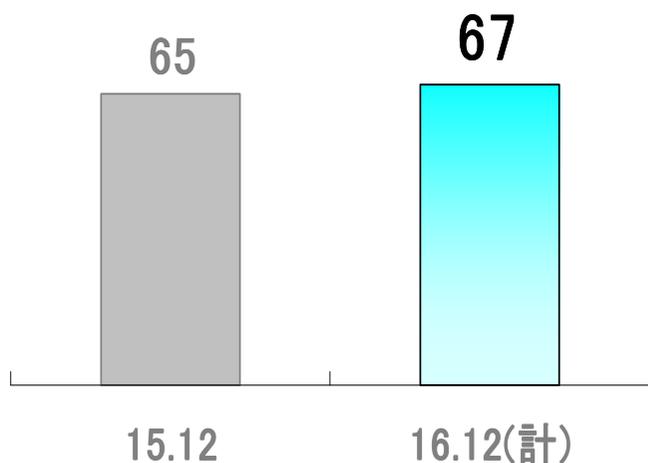
- 商品ミックスの改善
- 販売管理費削減
- 生・販・在の仕組み改善

- 要職に当社出向者を配置
- システム導入(営業費用)
- 評価制度の刷新
(売上重視⇒利益重視に変更)



シナジー効果の創出

■ 売上高計画 (単位:億円)



ノーリツ製
タンクレス給湯器
2月発売

2016年

- ・タンクレス給湯器の拡販
- ・タンク式給湯器の拡販
- ・生産効率の向上

2015年

- ・基幹システムの構築
- ・本社機能・組織体制の整備
- ・タンク式給湯器での成長

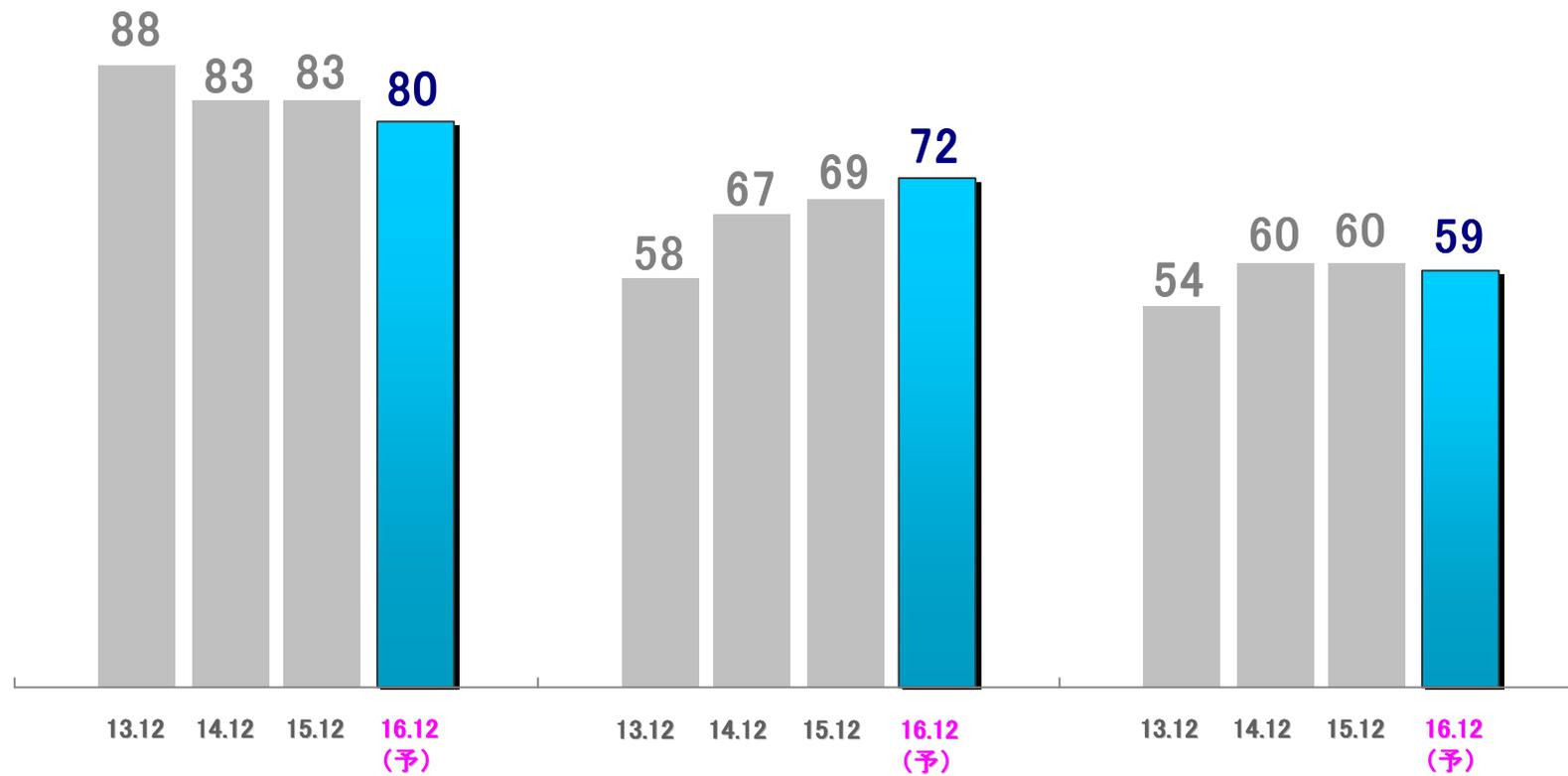


【単位:億円】

設備投資額

減価償却費

研究開発費

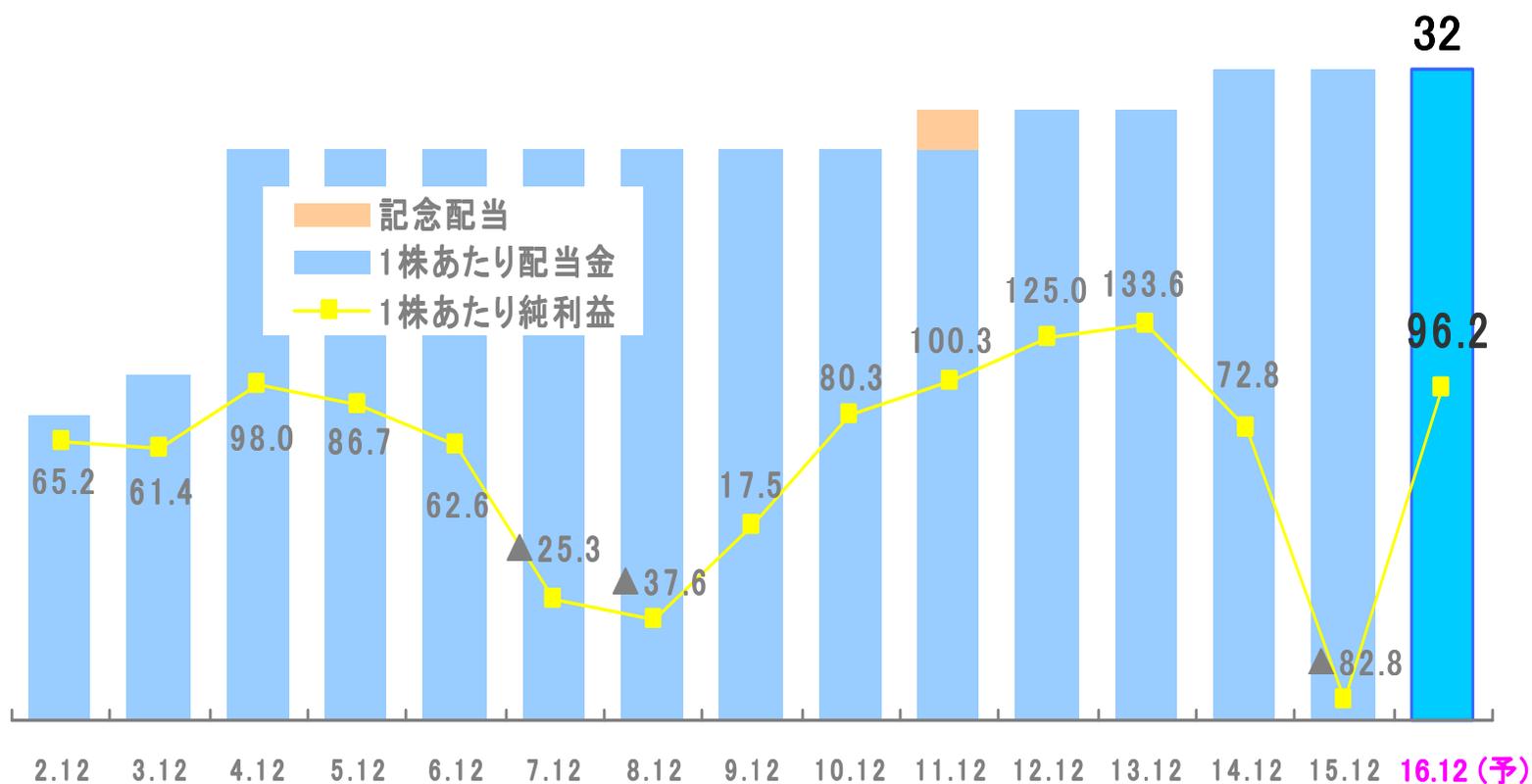


※減価償却費はのれん、商標権、顧客関連資産の償却費を除く

2016年(平成28年)12月期 配当予定

2016年12月期の年間配当は32円を予定

【単位:円】



新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて
暮らしの感動を追求するノーリツグループ

IRに関するお問い合わせ先
株式会社ノーリツ 広報室 広報・IRグループ
TEL:078-334-2801
<http://www.noritz.co.jp/ir.html>